

「美しい心もち 自分で考え やりぬく子の育成」
元気いっぱい 笑顔かがやく 若葉っ子

わかば



〒841-0083 鳥栖市古賀町 480 番地 2

TEL 0942-82-8722

FAX 0942-82-8829

鳥栖市立若葉小学校

R8年度 第18号

令和8年9月17日

校長 権藤 暢道



人差し指のトレーニング

学校だより「わかば」第15号で、「若葉まちづくりポスター」の撤去作業についてお伝えしましたが、今回はその第2弾です。9月12日、前回の作業で外したポスターパネルを、本年度の作品へ貼り替える作業を行いました。会場となったまちづくり推進センターには、総勢50名ほどの方が集まっておられました。作業は次の3つの班に分かれて進めました。

- 1 パネルから古いポスターをはがし、付着したテープ類をきれいに除去
- 2 子どもの作品をラミネートする
- 3 ラミネートされた作品をパネルに貼り付ける

私が担当したのは「1」の作業でしたが、これが意外と大変でした。こびりついたテープがなかなか取れず、金属製のスクレーパーでゴシゴシ。座り作業だったため腰が……。たまに立ち上がって伸びをしながら、またゴシゴシ。スクレーパーを持つ右の人差し指がプルプル震えるほどのしっかりとした指のトレーニングになった頃には、新しいポスターパネルが完成していました。完成したパネルは、19日に取り付け作業が行われます。子どもたちの元気な絵が勢ぞろいするのがとても楽しみです。

参加された皆さん、人差し指は大丈夫でしたか？本当にお疲れさまでした。



ロサンゼルスオリンピック出場決定おめでとう！

9月13日、バレーボールアジア選手権の男子決勝、ご覧になられたでしょうか。日曜の夜の7時という絶好の時間帯、序盤は相手イランのブロックに次々と捕まる苦しい展開となり、熱い檄がとびます。そんな手に汗握るハラハラドキドキの展開から、ライトの西田選手のスパイクが決まり始めると一気にペースを取り戻し、「ナイスブロック!」「よっしゃ、ブロックアウト〜!」などと、テレビの実況を無視して、自分流の実況や大歓声をあげながら、熱く応援していました。日本には高橋選手や石川選手といった、いつ見てもクールなスター選手がいますが、なんといっても西田選手はスパイクが決まるたびに「画面が割れるのでは」と気合満点の表情で雄叫びをあげ、全身で喜びを爆発させてチームを引っ張る最高のムードメーカーです。あの熱い姿を見ていると応援の熱が高まるとともに、アタッカーやレシーバー、セッターなど、それぞれが自分の役割の中で持ち味を発揮して輝く姿に、子どもたちの姿が重なって見えてきます。子どもたちも、自分のよさや強みを存分に生かし、これからの未来を生き生きと活躍してほしい…そんな思いが胸に広がりました。パリでの忘れものを取り返しにいくであろうロサンゼルスオリンピックでの躍動を信じ、これからも熱く日本代表を応援していきたいと思います。



2年生研究授業 道徳「水の広場」

9月16日、2年生で道徳の研究授業を行いました。授業では、間違っていることをしている上級生を注意しようとする友達の「あすか」と、それを止めた主人公「みらい」の姿を通して、「自分だったらどうするか」を深く考えました。子どもたちが自分自身のこととして捉え、葛藤しながら学ぶことのできる、とてもよい題材でした。子どもたちは、自分は「注意できるのか」「できないのか」を心のメーターで表し、「なぜ注意できないのか」という自分の素直な気持ちを友達に伝え合いながら、真剣に考えていました。

